

多摩市文化芸術ビジョン(案)  
抜粋

令和 5(2023)年 7 月

多摩市文化芸術ビジョン検討委員会

### 3 多摩市文化芸術ビジョンの目指す姿について

#### 多摩市文化芸術ビジョンの目指す姿

多様な文化芸術に、日常的に親しむくらしが  
街全体に広がっている

#### 【解説】

文化芸術は、乳幼児期から親しむことで豊かな感性を育みます。

人々が、互いの個性を尊重しながら、日常的に様々な文化芸術に出会い、参加することで、つながりや交流が生まれ、生活の質の向上につながります。多様な文化芸術に、日常的に親しむくらしが、街全体に広がっていきます。

## 4 ビジョンの具体的なイメージについて

多摩市文化芸術ビジョンは、将来、多摩市が、文化芸術を通じて実現したい街の姿をイメージしたものです。文化芸術を通して目指す姿を、皆で共有することができるようにしました。

### 親しみ楽しむ

#### 日常的に親しめる

- 表現活動が、いたるところで行われており、日ごろから文化芸術に触れ、親しんでいる

##### 【解説】

人々は、日常を過ごしているだけで、日ごろから文化芸術に触れており、意識する、意識しないにかかわらず親しんでいます。

多様な分野で様々な表現活動が行われており、その活動に参加・体験したい人や鑑賞・享受したい人に、文化芸術活動の情報が届き、生活の一部として自然に文化芸術に親しめる街の姿を表しています。

#### 表現活動を楽しめる

- あらゆる表現活動を、身近でのびのびと行い、人々は活動することや鑑賞・享受することを楽しんでいる

##### 【解説】

趣味として文化芸術活動を行う人やプロのアーティストなど、様々な表現活動の担い手が、屋内・屋外を問わず、のびのびと多様な分野で表現活動を行っており、その活動を受け止め楽しんでいる人々がいます。

文化芸術が身近にある日常を、活動や鑑賞・享受することで、人々が楽しめる街の姿を表しています。

## 触れる

### 乳幼児期から触れている

- 子ども達は、乳幼児期から文化芸術に参加・体験し、文化芸術に対する興味を深めている。保護者や地域の人々は、子ども達が文化芸術に触れることの大切さを理解している

#### 【解説】

子ども達は、乳幼児期から文化芸術に親しみ、文化芸術がある生活が日常となっています。

乳幼児期から文化芸術に触れることは、創造する力、豊かな個性と自己肯定感を育むことにつながり、子ども達の成長になくてはならないものです。

乳幼児期から文化芸術に親しみ、文化芸術を身近で日常的なものにするような環境作りを、みんなで行っている街の姿を表しています。

### いつでも触れられる

- ライフスタイルの変化があっても、いつでも文化芸術に触れられる

#### 【解説】

人々は、生涯を通じて、文化芸術に触れたいときに触れることができます。

「仕事が忙しい」「子育てで時間がない」など、ライフスタイルの変化があっても、文化芸術にいつでも触れる機会があり、乳幼児から大人まで、鑑賞したい時に鑑賞でき、参加したい時に参加でき、創造・表現したい時に創造・表現できる環境がある街の姿を表しています。

## つながり交流する

### つながり合うことで生きがいを感じられる

- 文化芸術を通して地域で交流が生まれ、一緒に活動すること、教え教えられることで、生涯を通じてつながり、いきがいや喜びを感じている

#### 【解説】

人々は、文化芸術を通してつながり合い、一緒に活動することでいきがいや喜びを感じています。

自身が得意なことを、知りたいと思う人々などに教える機会があり、教える側は生涯を通じていきがいを感じ、教えられる側は「新しいことができた」「楽しい」など喜びを感じることができます。そして教える側にもなっていく循環が生まれている街の姿を表しています。

### 交流しコミュニティが広がっている

- 表現活動が、様々な分野・多様な機関と連携し活発に行われており、市民だけでなく域外の人々とも交流が生まれ、コミュニティが広がっている

#### 【解説】

文化施設を中心に、文化芸術を通して教育や福祉等の機関と広く連携し表現活動が行われ、人と人との交流が生まれる街となっています。

表現活動は市内で区切られるものではなく、市外の人々が活動に参加し、鑑賞者としても関わりをもちます。表現活動を行うことで、また、活動後に人々と余韻を楽しむ工夫を行っていくことで、市民同士、市民や域外の人々の交流が生まれ、団体等のつながりもでき、コミュニティが広がっていく街の姿を表しています。

# 機会がある

## 出会える機会がある

- 様々な体験を通して、生涯を通じて活動したいものに出会える機会や環境がある

### 【解説】

様々な体験ができ、生涯を通じて「今まで気づかなかったが、自分はこれがやりたかった」と思えることに出会える機会や環境がある街となっています。

多様なジャンルの文化芸術が身近にあり、気軽に触れることができ、体験を促すための場がある街の姿を表しています。

## 活かせる機会がある

- 得意なことや、専門的な知識・技術を活かす機会があり、文化芸術が多様な人によって振興している

### 【解説】

文化芸術に市民の得意なことや市民がもつ専門的な知識・技術をつなぎ、活かす機会があり、文化芸術に関わる人が増え、文化芸術が振興している街となっています。

表現活動を自ら行う人はもちろん、彼らを支援したり、体験する人をつないだり、多様な市民が文化芸術に参加できる街の姿を表しています。